

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	成人臨床看護Ⅱ	時間数	30時間
講師名	非常勤講師	履修学年	2年次
概要	疾病の急激な発症や急変によって起こった生命の危機的状態にある成人期の対象に応じた看護を学ぶ。		
学習目標	1.クリティカルケア看護を必要とする成人期の対象の特徴が理解できる。 2.クリティカルケア看護の特徴が理解できる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	1.救急看護とクリティカルケアの特徴 2.救急医療体制と救急搬送システム 3.救急看護・クリティカルケアの場	講義	
2	クリティカルケア看護を必要とする対象の特徴	講義	
3	1.対象と家族の心理状態とその関わり 2.クリティカルケアにおける倫理的課題	講義	
4	クリティカルケア看護における臨床判断の特徴 1.即時的な判断と気づきの重要性 2.生命維持と安楽の両立のための臨床判断	講義	
5	ME機器の取り扱い	講義	
6	ME機器管理の実際（心電図モニター、人工呼吸器）	演習	
7	1.ECUの機能と役割 2.ECU患者の特徴 3.多職種連携	講義	
8	クリティカルな状態にある患者の病態の理解と看護② 1) 体液・循環管理の重要性 2) 循環動態の観察 3) 循環障害の治療と看護ケア 4) 体温管理と看護ケア	講義	
9	クリティカルな状態にある患者の病態の理解と看護③ 1) 栄養管理の重要性 2) 栄養状態の評価と栄養投与、血糖管理 3) 栄養管理における看護ケア 4) 代謝管理の重要性と看護ケア	講義	

10	クリティカルな状態にある患者の病態の理解と看護④ ・臨床判断プロセス(意識障害・胸痛・腹痛・浮腫・ショック)	講義
11	1.ICUの機能と役割 2.ICU患者の特徴 3.せん妄とその看護 4.多職種連携	講義
12	クリティカルな状態にある患者の病態の理解と看護① 1) 呼吸管理の重要性 2) 呼吸状態の観察・臨床判断プロセス 3) 急性呼吸不全患者の看護ケア	講義
13・14	人工呼吸器装着中の看護 1) 人工呼吸器とは(目的・方法・種類・適応) 2) 全身への影響 3) 看護の実際(気管内吸引・体位変換・口腔ケア・体位ドレナージ) 4) 挿管チューブの固定方法と皮膚障害の予防	講義/演習
15	1.鎮痛・鎮静とは 2.鎮痛・鎮静患者の観察と看護ケア	講義・試験
使用教科書・教材・参考書 新体系看護学全書 経過別成人看護学① 急性期看護：クリティカルケア メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 別巻 臨床外科看護学Ⅰ メヂカルフレンド社 系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院 看護技術プラクティス 学研		
成績評価の方法 筆記試験100%(救急看護30%、ICU看護40%、クリティカルケア看護30%)		
備考 6、14回目は各クラス、その他は合同講義		